

令和3年度第2回我孫子市総合教育会議 概 要

- 件 名／令和3年度 第2回我孫子市総合教育会議
- 日 時／令和3年12月21日（火）16：00～17：00
- 場 所／教育委員会 大会議室
- 出席者／星野市長、丸教育長、長谷川教育委員、蒲田教育委員、村松教育委員、廣瀬総務部長、飯田教育総務部長、木下生涯学習部長
（教育総務課）森田課長、尾高主査
（指導課）佐々木課長、中山課長補佐、五十嵐指導主事
（学校教育課）鈴木教育総務部次長兼課長
（生涯学習課）菊地生涯学習部次長兼課長
（秘書広報課）岡田課長、安武課長補佐
- 欠席者／足立教育委員
- 傍聴人／なし
- 協議・調整事項

1. コミュニティ・スクールについて

令和4年4月から市立小中学校全19校に導入するコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）について、導入の背景や我孫子市が目指すコミュニティ・スクールの姿などを指導課より説明し、意見交換を行った。

（意見交換）

- ・ コミュニティ・スクールの導入は評価できる。地域学校協働本部と学校運営協議会とのかかわりは、どのようにイメージしているか。
- ・ PTAは学校によって温度差がある。PTAは地域学校協働本部の中に入るようになっており、学校運営協議会にはPTAではない人が入ることもあり、お互いの声が届きにくくなるのではないかと懸念する。
- ・ 布佐中学校区ではどのようになっているか。
- ・ コミュニティ・スクールが各学校でうまくいってほしいと思うが、一方で、スタートすると色々な課題が出てくると思う。
- ・ PTA役員は、学校により任期が1年だけのところ、何年も続けるところがある。保護者が変わってもつながっていける工夫をしてほしい。

- ・ PTAを盛り上げたい地域、なくしたい方向の地域など、地域によってさまざまであり、PTAが直接、学校運営協議会とつながるようにしたほうが良いのではないか。
- ・ 布佐中学校区ではうまくいっている印象だが、学校によって、地元で働く人が多い地域、会社通勤が多い地域で変わってくると思う。
- ・ コミュニティ・スクールが導入されれば、部活や授業に地域の人たちが関わりやすくなるという理解でよいか。
- ・ 学校経営に対し、「このような支援ができる」というような話がしやすくなると思っている。学力向上や学習支援に力を入れたい学校は、そうした協力を得ることができると思う。しかし、部活等の指導者に関しては、すぐに増えるといった状況になることは難しいと考えている。
- ・ 学校評議員は、評議員側から謝礼は不要で、その分の予算を学校に使ってほしいという申し出があったことから、謝礼の金額を下げたという経緯がある。学校運営協議会の委員報酬はどのようになるのか。
- ・ 地域学校協働本部の委員にも報酬が発生するのか。
- ・ 1月16日号の広報では、コミュニティ・スクールとGIGAスクール構想について特集し、市民の皆さんへの周知を図りたいと考えている。